

SCHEME | 研究支援無償

研究支援無償とは…

研究支援無償は、開発途上国が抱える諸問題についての研究活動推進の支援、開発途上国向け製品等の新技術についての研究・開発、製品化に対する支援を目的とした無償資金協力です。

JICSの役割

JICSは2001年度より、開発途上国政府との契約に基づき、開発途上国政府が抱える諸問題の研究・開発活動のために供与された無償資金を適正に管理するとともに、両国の研究者やメーカーの活動が円滑に実施されるための調整、サポートなどを行っています。



アフガニスタン地雷除去活動支援機材開発研究計画—耐爆試験のために除去機の下に爆薬をセットする現地スタッフ



アフガニスタン地雷除去機開発研究計画—地雷除去機試作品の視察のため来日したアフガニスタン側関係者



アフガニスタン地雷除去活動支援機材開発研究計画—試験サイトを視察し、アフガニスタン側関係者の紹介を受ける逢沢外務副大臣

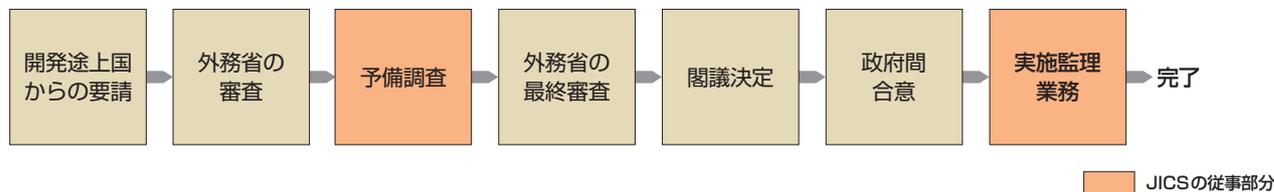


インドネシア第二次地方分権化研究計画—バンドンにて開催されたEXITワークショップの様子



ロンボクで開催されたEXITワークショップにてレクチャーする一橋大学大学院浅沼信爾教授

業務の流れ



事業実績

対象国	案件年度	案件名
インドネシア	2001	インドネシア地方分権化研究計画
インドネシア	2002	インドネシア第二次地方分権化研究計画
アフガニスタン	2002	アフガニスタン地雷除去機開発研究計画
アフガニスタン	2003	アフガニスタン地雷除去活動支援機材開発研究計画

ケーススタディ CASE STUDY

インドネシア共和国の地方分権化研究計画 [2001年度] 第二次地方分権化研究計画 [2002年度] (インドネシア)

●事業概要：日本とインドネシア両国の関係者による、インドネシアにおける地方分権化研究活動の調整、シンポジウムやワークショップの開催のサポート

インドネシアの地方分権化研究に貢献

インドネシアでは、1998年のスハルト政権崩壊後、地方分権化政策が進められており、国家維持の観点からも重要な課題となっています。このプロジェクトでは、インドネシアと日本人の研究者が、地方分権化のさまざまなテーマについて共同研究を行いました。また、共同研究の一環として、インドネシアの6地方およびフィリピンにおいてフィールドワークを行い、各地方の地方分権化の実態などについて調査、研究が実施されました。これらの成果は、2003年1月に行われた東京シンポジウム、2003年9月にジャカルタで行われたEXITシンポジウムおよび、フィールドワークが行われた各地方において実施された社会化ワークショップにて発表されました。

シンポジウム、ワークショップには、中央政府、地方政府、国際機関、NGO、マスコミ、大学等の関係者が多数参加し、活発な意見交換が行われました。また、両国研究者による中央政府関係者に対する研究成果の報告では、地方分権化政策に

についての提言がなされました。この提言は、英語・インドネシア語の小冊子にまとめられ、地方政府関係者等に配布されました。



ジャカルタにて開催されたEXITシンポジウムの様子。研究者による発表の後、参加者を交え活発な意見交換が行われました。